

打 合 覓

	原	紙	写							作成者氏名 近藤			2枚のうち1		
配布先	ローム殿	アルバックテクノ									打合先認		当方認	<div>31616 23.6.30 近藤(信)</div>	場所 ローム滋賀工場
															日付 2023/6/30
数	1	1									関係番号 YW22-20016A				
出席者 ローム株式会社 滋賀工場 設備保全課：シフトリーダー 児玉賢二様 アルバックテクノ (滋賀CS) 山本 (技術本部) 高津, 近藤											議題 メタライズ装置(SPT311)用 クライオポンプ監視評価導入(システム) 取付工事報告の件				
議 事														注	
『メタライズ装置 (SPT311) _クライオポンプ監視評価導入』を、納入仕様(340-496-00055-01)に基づき、2023/6/29-30の期間作業をしましたので報告します。															
1. 工事期間 : 2023/6/29(木)-2023/6/30(金)															
2. 担当 ローム殿 児玉様、片山様 アルバックテクノ (滋賀CS) 山本 (技術本部) 高津, 近藤															
3. 工事概要 ローム滋賀工場殿メタライズ装置(貴社呼称SPT311/L3)へのクライオポンプ監視機器取付作業を行いました。 1日目 対象装置稼働停止を伴わない本システムのモジュール間敷線をCRにて行いました。 2日目 対象装置に監視に必要となるセンサー等を取り付け、システム全体の動作を確認しました。															
4. 報告事項 1) クライオポンプ監視機器取付が終了していますが、監視を開始する為に下記項目2)以降の処理が必要です。 2) (情報セキュリティ) ローム殿IT統括部御許可の後、外部接続器の電源投入を行いシステム導入時確認を再開します。 3) (2ndパネル熱電対アナログ出力確認) 既設装置では、アナログ出力値を、ポンプ本体温度計(MBS)から、表示器(MBD-I)に配線されています。 クライオポンプ監視機器はこの配線を流用する予定でしたが、装置から 一次項へー															

打 合 覓

—以上—